

豊富町議会広報紙

議会 とよとみ

6月
定例会
6月18日

② 6月定例会のあらまし

③ 一般質問

⑥ 町のことチェック

⑧ 議会レポート

◇豊富高校2・3年生 議会傍聴

◇広聴会「豊富町観光協会」

◇広聴会「北海学園大学」

◇総務産業常任委員会 現地視察

⑫ 高校生の声、中学生の声

「議会とよとみ」はスマートフォン
でも見られます



令和8年
8月
[第256号]



6月定例会のあらまし



令和8年6月18日に6月定例会が開かれました。

はじめに、豊富高校の2年生と3年生が授業の一環として議会傍聴に来られている説明があり、一般質問では2名の議員が登壇し、「外郭団体等への委託等に対する環境及び待遇などについて」「上水道設備について」「熊対策について」の3件の質問を町長へ行いました。

また、町長から提出された1件の委託契約の締結、1件の条例改正、14件の任命同意、1件の計画策定、1件の財産の取得、6件の補正予算については、全て原案可決及び同意議決されました。

PICK UP

意見書を提出

森林資源の循環利用に向けて

ゼロカーボン北海道の実現に資する森林・林業・木材産業施策の充実・強化を求める意見書

以下、2点の措置を講ずるよう強く要望します。

- 地球温暖化や山地災害の防止など森林の多面的機能の持続的な発揮に向けて、伐採後の着実な植林や適切な間伐、路網の整備や「国土強靱化実施中期計画」に基づく防災・減災対策の推進について、物価や人件費の高騰も考慮し、必要な予算を十分に確保するとともに、森林の保全と適切な利用に向けた取り組みを進めること。
- 森林資源の循環利用を推進するため、優良種苗の安定供給、鳥獣害・病虫害など森林被害対策、AI技術やICT等を活用したスマート林業の推進、木材加工・流通体制の強化、建築物の木造・木質化や木質バイオマスの熱利用の促進などによる道産木材の需要拡大、外国人材も含めた森林づくりを担う多様な人材の育成・確保などに必要な支援を充実・強化すること。

提出先

衆議院議長・参議院議長・内閣総理大臣・財務大臣・総務大臣・文部科学大臣・農林水産大臣・経済産業大臣・国土交通大臣・環境大臣・復興大臣

議会からのお知らせ

この度、町議会議長として7年以上の千葉久議長、町議会議員として15年以上の前田孝一議員・佐々木政義議員が北海道町村議会議長会より表彰されました。

今後も地域の振興発展に寄与貢献できるよう精進してまいります。



議長 千葉 久



議員 まえだ こういち
前田 孝一



議員 ささき まさよし
佐々木 政義

ココが聞きたい!

一般質問

2番

みとべ まさひろ
水戸部 正博

P
3

- (1) 外郭団体等への委託等に対する環境及び待遇などについて
- (2) 上水道設備について

3番

たけなか たかひろ
竹中 隆浩

P
4

- (1) 熊対策について

一般質問とは？

議員が町の事務の執行状況や将来の方針について、町長などに説明・報告を求め、町が町民のための適切な町政運営を行っているかを確認するものです。

今回は2名の議員から一般質問が提出されたのでご紹介します。

問

外郭団体等への委託等に対する環境及び待遇などについて

町長

環境は他の未整備施設の利用状況を考え検討する
待遇は関係団体から話を伺い検討する

議員

近年は、小中高の学校を含む、町営施設に冷房設備が設置されましたが、共同福祉施設には、まだ1台も設置されておられません。

施設利用者や施設内で働く職員の健康被害を防ぐためにも、共同福祉施設の冷房設備が必要と考えますが、町長の見解を伺います。

また、日本政府は物価上昇に見合う待遇改善を含めた目標を明確に掲げており、外郭団体への補助金など、見直す考えがあるのか町長の見解を伺います。

町長

共同福祉施設の冷房設備は、近年の気温上昇も踏まえ、公共施設の冷房整備を進めてきましたが、他に未整備の公共施設もありますので、施設の利用状況などを考え合わせ検討を進めます。

また、外郭団体等の職員の

議員

待遇などは、基本的にそれぞれが独立した組織なので、各団体が主体的に判断されるものであると考えますが、昨今の急激な物価上昇などもありますので、関係団体のお話しも伺い検討を行いたいと考えております。

冷房設備は、早急な対応をお願いします。

待遇面は、それぞれ大事な任務を担っており、待遇格差が広がるようでは組織の弱体化を招きかねません。各団体と協議を重ねていただきたく、町長の見解を伺います。

町長

外郭団体の環境整備は、独立している機関であり、まずはそこで検討をしていただき、それを基に我々もしっかりと検討していきたいと考えております。



みとべ まさひろ
水戸部 正博 議員

問 上水道設備について

町長

補助金を活用し計画的に管路の更新を進める

議員

漏水による水道管の補修工事が何度かありました。また、これまでに取替工事なども行われてきました。

40年以上経過の老朽化が懸念される配管がどの程度存在するのか、それらの取替工事がどの程度進んでいるのか、現在の進捗状況と今後の予定をお尋ねいたします。

町長

40年以上経過している簡易水道の管路は、総延長24.2kmに対し77kmの32%となっております。

ご質問の要旨にありますように、近年、漏水箇所も多くなってきたので、資材等の高騰による事業費上昇という課題はありますが、道営事業や農地耕作条件改善事業など補助金を活用しながら計画的に管路の更新を進めた

いと考えております。

議員

水道設備は重要なインフラなので、長期的に持続可能な対応が求められます。

一般会計の繰出、補助金、受益者負担のバランスが肝要と考えていますが、町長の見解をお尋ねします。

町長

受益者負担とのバランスについては、先ほども答弁したように、補助金をうまく活用しながら、残っている管路を整備し、当然、皆さんから言われておりますが、水道料金をどうするんだというご意見もいただいておりますので、この辺はしっかりと検討を進めたいと考えております。

問 熊対策について

町長

8月中に熊対策のマニュアルを制定する

教育長

学校における危機管理の手引きに照らし合わせ対応する

議員

昨年9月1日から改正鳥獣保護管理法が施行され、一定の条件のもと自治体の判断で市街地でも緊急的に熊の捕獲に猟銃を使用することが可能となりました。

連日、熊の出没や人的被害、さらには農作物の被害が全国的に報道されており、住民の不安が大変高まっています。

また、積丹町で猟友会とのトラブルにより、活動を休止する事例も発生し、自治体と猟友会の協力関係の重要性が浮き彫りとなり、実効性のある熊対策が急務であると考え、熊対策について伺います。

1. 熊対策のマニュアル策定について

緊急時の対応手順や猟銃使用



たけひろ 隆浩 議員

町長

1. 熊対策のマニュアル策定について

本町では、「北海道が定めている熊出没対応方針」などに基づき、猟友会豊富支部をはじめ関係機関と連携し、対応を行ってきました。昨年来、本町におけるヒグマ出没件数が増加している状況も踏まえ、豊富町独自のヒグマ対応方針

の策定に向け、早急に猟友会豊富支部や関係機関と執り進めていきたいと考えております。

教育長 2. 熊出没時における
学校内の安全確保対策
について

役場関係課より情報が入り次第、状況を確認し学校へ連絡することとなっております。

昨年7月の豊小付近の目撃情報では、小中学校を2日間臨時休校とし、11月の豊小・豊中付近の目撃情報では、小中学校の保護者へ送迎を依頼し、中学校では部活動を中止するなどの対応を取っております。いずれも翌登校日の登下校でも、保護者へ送迎を依頼し、警察や猟友会等のパトロールと、教職員と教育委員会による警戒や青色回転灯パトロールを実施しております。

現在は、各学校へ熊撃退スプレーを配備し、今後においても学校との連絡を密に屋外活動中の場合は直ちに活動を中止し屋内へ避難するなど安全を確保してまいります。

議員

6月9日に幌延町間寒別で、民家に熊の手あとが発見され、本町でも同様の事態がいつ発生してもおかしくない状況にあります。町長不在時や周囲の安全確認に時間を要すると、役場職員、警察、猟友会が危険にさらされ、発砲許可の判断が難しく課題が山積みです。

そこで、箱罌の数を増やしての駆除や、麻酔銃を扱える人材育成を進める考えがあるのか町長にお伺いします。

また、児童生徒の安全確保のために、熊の生態や、遭遇時の対処法に関し、熊スプレーの取り扱いなども含めて、学習の機会の充実や、全国各地で行われている熊ホイッスルの配布などを検討する考えがあるのか教育長にお伺いします。

町長

緊急銃猟（緊急的な発砲許可）の勉強や、警察・猟友会とも状況を判断し、バックストップ（球が飛び散らないような場所の確保）などの問題がありますので、1回訓練をやるうと担当課に伝えています。

我々がしっかりと進めていきたいのは、ガバメントハンター（自治体がハンターを雇用）として害獣対策をしていただく、自衛隊や警察を退官された方なども含めて、今検討を進めておりますので、ガバメントハンターを早く進めていきたいと考えております。

教育長

北海道教育委員会の「学校における危機管理の手引」により、ヒグマ出没時の対応が示されており、学級活動やホームルーム、総合的な学習の時間にヒグマの生態などを教え、スプレーの扱いなどは、持つ教員に注意点を話し、豊富町でもマニュアルを策定するということで、関連しながら、町職員や猟友会と学校での対策や危機管理のデモなどをやりたいと考えております。

また、ホイッスルですが、熊には効かない情報もあります。

ですので、それに合った物があれば、検討させていただきま

す。なるべく熊に近寄らない、出るところに行かない。とっさに出た場合にはどう対応をすればいいのか職員や児童生徒に対応をしっかりと植付けていければと思っております。

議員

マニュアルやルールづくりを早期に対応していただけるということで回答がありました。熊は山の食べ物がなくなつて市街地に現れると思います。秋になるまでにマニュアルづくりは完璧に作らなければならないと思います。これはいつまでに案を作成していただけるのかお伺いします。

町長

具体的に道との調整も必要になり、猟友会のご意見もしっかりと聞いていかなければいけないことでもありますので、8月中旬に完成できるように、秋にはマニュアルを制定して対応していきたいと考えております。

町のこと ／ チェック

町長から提案された予算案等は、総務産業常任委員会・予算決算常任委員会で慎重に審議が行われます。

「豊富町はどうなっていくの？ 私たちの税金はどんなコトに使われていくの？」

委員会では、そんな疑問を解消するため議員から町の執行部へ様々な質問が投げかけられます。

実際に行われた議員の質問と町の回答を一部ご紹介します。

辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定について

【内容】経年劣化が進む「若草橋（豊徳地区）」の長寿命化を図るため、橋梁改修工事を実施し、地域住民等の安全性と利便性を向上させるもの。

橋梁長寿命化修繕事業を計画に搭載することで辺地債の借入が可能となる。

辺地とは…交通条件や自然的・経済的条件などに恵まれていない地域

事業費の内訳と来年度以降の工事費は大丈夫か

事業費50,752千円の内訳と、来年度以降の工事費が上がる可能性はあるのか。

A 国の単価に変動があれば変更もある

事業費の内訳は、調査設計12,078千円と工事費38,674千円。
今年度で調査設計を行い、翌年度で工事となるが、現行単価でし

か設計ができず、現在も12月に取った見積りがほとんど使えない状況。物価高騰などで国の単価に変動があれば変更もあるが不透明な状況でありご理解いただきたい。

財産の取得について

【内容】新たにロータリー除雪車1台を購入するため、地方自治法の規定により議会の議決を求めるもの。豊富町の入札参加資格名簿に登録されている5業者による指名競争入札で落札率99・7%で落札。

納車はいつの予定か

温暖化の問題もあり、年度内で使用せずに終了する可能性があるため、年度内の納車は可能か。

A 年度内の納車を予定する

契約の工期は令和9年3月10日までとなっており、全道的に繰越している所もあるなか、年度内で納車の見込みで予定している。

【総務費】防災諸費…防災備品購入費

【内容】可搬型発電機4台、大型扇風機4台、スポットクーラー4台、防災服購入など避難所の環境改善と災害対応に従事する職員の被服等を整備するもの。

Q 地域での必要時の考え方

避難所の蒸し暑さは賄えるのか。地域で避難が必要となった場合の考え方は。

A 可搬型を移動させて使用する

停電が発生した場合、定住支援センターは非常用発電機に切り替わるが、町民センターは自家発電が必要となる。エアコンを整備しても長期的な使用は難しく、可搬型発電機と大型扇風機・スポットクーラーで通風することで、エリア的に涼しく感じる空間ができる。当初では町民が多く避難する地域を最優先し、柔軟な考えで、可搬型で移動させることもできるため、段階的に整備を進めていく。

Q 台数は4台で大丈夫なのか

災害はいつ起きるかわからない。台数的に持っておいた方が良いのでは。

A 段階的に整備を進める

豊富町の気温状況を調べると、去年の30℃超えは2日くらいであり、その時期に避難が必要となれば、今ある大型扇風機で対応することになり、段階的に整備を進めていく。

Q 燃料の保管は

燃料の保管状況はどうなっているか。

A 基準を超えない範囲で貯蓄している

避難所で必要な燃料はストックしている。初動対応の8時間、その後は協定書を締結している町内のガソリンスタンドで追送して保管する。規則で保管できる燃料の量が決まっているため、基準を超えない範囲で貯蓄している。

【民生費】老人福祉総務費・学生謝礼

【内容】学生が、豊富町に来て職場や町を見たいという希望者に対してツアーを開催し、その費用を参加する学生に支払うもの。

Q 学生はどこから来るのか

制度の詳細と学生は地方から来るのか。

A 社会福祉士の採用に向けたPR活動

現在、社会福祉士を募集しており、採用に向けたPR活動として、職場や町の見学などのツアーを実施する。道内主要（札幌・旭川・名寄など）の社会福祉士養成校の学生を考えている。

【教育費】事務局費・庄内小中学校玄関・体育館修繕工事

【内容】旧庄内小中学校の玄関や体育館の修繕を行うもの。

Q 工事内容と建物の状況は

工事内容の詳細と建物の年数がたっているが、他のところは大丈夫なのか。

A 天井や体育館で劣化がみられる

旧庄内小中学校の玄関の天井や体育館の軒先が劣化により落ちてきている状況で修繕工事が必要となった。現在のところ直すべきところは2箇所。

【教育費】学校管理費・温心園前町道街路灯LED化改修工事費

【内容】温心園前の街灯4基をLEDに改修し光量を確保するもの。

Q 生徒が安心して通学できるか

LEDにより明るくなり、生徒が安心して通学ができるようになると思うが、現実にはつけてみないとわからないので検証が必要ではないか。

A 明るさが倍以上で白色に変更する

今ある鉄柱はそのまま使用し、器具をLEDにする。明るさが倍以上になり、色も白色に変更する。

議会でよとみ
まね写真募集集中！

豊富町議会では、豊富町で撮影した写真及びメッセージを募集します！「応募いただいたなかから選定し」議会とよとみの表紙写真とさせていただきます。たくさんお応募お待ちしております！

【応募資格】豊富町の写真を撮影した方

【募集内容】風景・人物問わず豊富町で撮影した写真と100文字以内のメッセージを募集します。笑顔になれる大人・子どもの写真や、心癒される風景写真などお待ちしております！

※写真サイズはできるだけ大きく、JPG形式でお願いします。

【募集期間】随時募集

【応募方法】左記QRコードから、件名「議会とよとみ表紙写真」と記入し、本文にメッセージと連絡先（住所、氏名、電話番号）を記入の上、写真を送付してください。



豊富高校2年生と3年生



傍聴を終えた生徒さんより感想をいただきましたので、一部をご紹介します。

6月18日（木曜日）に開催された「令和8年第2回定例会」に、豊富高等学校の2年生と3年生の生徒が傍聴に来られました。

本会議では「一般質問」のなかで、議員が町へどのように声を届けているのかを見学し、11月に開催が予定されている「高校生議会」に向けて、本番の臨場感や会議の進行を学んでいただきました。

今回の傍聴や高校生議会を通して、次世代を担う高校生の皆さんに町政や議会への関心を高めていただけたら幸いです。

◆◆◆ 3年生 ◆◆◆

始まり方が生徒総会と似ており、学校での経験はこのような場面で活きるのだろうと感じた。また、議長や町長が報告をする際には、どこに何の用で出張したのか、その当時の出欠、会社の金銭に関することや営業日など細かく報告されていると感じた。



◆◆◆ 3年生 ◆◆◆

質問は質問で終わらせるのではなく、何度も選択を迫られて決定させ、その後は日時を決めさせるという抜かりのない質疑に感嘆した。支出、利益の額が億越えばかりで、町を運営するうえでの金の流れがとても大きいものだと思った。



◆◆◆ 3年生 ◆◆◆

熊対策についての質問のときに、他の町との比較、例を挙げていて説得力があると感じた。また、現在の豊富町の熊対策については、小中学生の保護者送迎、パトロールの強化と町民に頼りすぎではと感じたので、豊富町として何かできることを議論したほうが良いと思った。





◆◆◆ 2年生 ◆◆◆

ただ質問をするだけじゃなくて、今の状況をしっかり伝えつつ、町民の声も踏まえて話して質問をしていたからすごいなと感じた。私も質問する際には、詳しく適切な質問ができれば良いと思う。



◆◆◆ 2年生 ◆◆◆

中学校3年生のときに、子ども議会をやったことがあるが、他の町だと雰囲気全然違うと感じた。そして、町のことはここで決まっていると本当に感じた。質問や答弁の内容が難しい部分もあり、自分たちも11月にあるので、再質問など臨機応変にできるか不安。

◆◆◆ 2年生 ◆◆◆

入って間もない時は、とても厳かで張り詰めた空気と感じたものの、議長や町長のユーモラスな発言があったりして、議員同士で和気あいあいとした部分があって少し緊張が解けた。自分たちの住む町の町政の採択の現場を実際に目の当たりにし、日頃から町のあれこれに関心を向けて定期的に調べるなどした方が良いなと思った。



◆◆◆ 2年生 ◆◆◆

日常生活であまり感じることのない仕事特有の空気感があった。儀式的な意味合いが大きいのも実感した。高校生議会でも行くことになるから、今のうちに慣れたほうが良いと思った。



広報広聴常任委員会 豊富町観光協会

広聴会

■開催日 令和8年5月26日（火曜日）

■豊富町観光協会 事務局

ふじむら ひとみ はぎわら なおや なかきた なおき
藤村 瞳さん・萩原 直也さん・中北 直希さん

■参加議員 ちば ひさし たけなか たかひろ おがさわら てるみ
千葉 久・竹中 隆浩・小笠原 照美
かまくら かずお みとべ まさひろ
鎌倉 和雄・水戸部 正博

令和8年5月26日に豊富町観光協会から3名の事務局職員に参加いただき広聴会を開催しました。日頃の活動内容や職場環境の課題などを確認することができましたので、一部をご紹介します。

ご協力いただきました豊富町観光協会事務局の皆様ありがとうございました。

豊富町観光協会は、事務局職員3名体制で各種事業の準備から運営まで業務内容は幅広く、豊富町の魅力を発信するために日々活動しています。

「町の観光PR」「特産品販売」「レンタサイクルの貸出」「イベント運営」などを行っています。

各種事業の内容は次のとおりです。

町の観光PR

ホームページでは、豊富町の宿泊先一覧、観光マップやアクセスを掲載し、観光や体験情報を紹介しており、長期滞在に関する情報も掲載しています。

また、各メディアやSNSを活用し、リアルタイムで情報発信しています。

特産品販売とレンタサイクルの貸出

豊富駅と併設した「豊富町観光情報センター」を運営しており、豊富町の特産品やオリジナルグッズのお土産販売に力を入れています。

また、4月下旬～10月下旬頃までママチャリやマウンテンバイクの貸出を行っておりますので、大自然を満喫する移動手段としてご利用ください。

◇豊富町観光情報センター

営業時間 4～11月 9:00～17:00 12～3月 9:00～15:00

レンタサイクルの受付時間 9:00～17:00(当日返却)

イベント運営

地域を盛り上げるため、様々なイベントの主催・企画・運営を担っており、皆様のご協力と多くの参加をいただきながら、イベントを盛大に開催しています。

◇主なイベント開催

- ・ 北海学園大学と「包括連携協定」を締結し、観光振興のプロジェクトを展開【環境省】
- ・ 旅を通して心身を整える「ヘルスツーリズム」の推進【観光庁】
- ・ 豊富温泉開湯100周年記念事業の通年イベントを開催【実行委員会事務局】
- ・ 観光列車「花たびそうや号」お出迎え
- ・ 温泉むすめ「豊富水由(とよとみ みゆ)」と連携した「ぽかさんぽ」
- ・ 冬季イベント「スノーランドわんぱーく」

など

困っていることや要望などはありませんか？

- ・ イベントを開催する際に、町有地の使用について融通を効かせて欲しい(厳しい)。観光振興に使用したいという目的があるので使いやすさがあると助かります。
- ・ 数年前から比べると事業が倍以上になっているため、職員の不足を感じます。
イベントでは、人が少ないなかではありますが、JAや商工会の青年部など多くの方々に協力していただけるようになり、それぞれの強みを活かしながらイベント運営ができるようになりました。
- ・ 冷房設備について、外気温がそれほど高くななくても室内が30度以上になる時があります。
事務所(共同福祉施設)を利用する方の健康面を考えると冷房の設置をお願いしたいです。
また、観光情報センターで働く方も、豊富水由ちゃんやマンホールカードの効果で窓口が混雑する時間があり健康面がとても心配です。



議員から…

体育館(100円ジム)について

議員 器械を増やす考えはないのか

観光協会 費用的なものもあり費用をかけても人がきてくれるかの心配もある

議員 あくまでも健康増進を目的として、リハビリ効果で介護予防になっている…など町民のためにどうできるか考えて欲しい

レンタサイクルについて

議員 観光客がたくさん来ているなかで、どうしたらレンタサイクルをたくさんの方に利用していただけるのか…、利用していない原因は何か…を密に顔を合わせて、話し合いが必要。

温泉開湯日のイベント(おまつり)の開催について

議員 開湯を祝ってイベント(おまつり)が継続してできるように考えて欲しい。子どもたちが楽しめる場所がないので、ふるさとが思い出として記憶に残り、未来永劫続くようなかたちを作り、未来へ引き継ぐことが大事。

議員感想

観光協会のことを調べていくと、ホームページのデザインなどもすごく良く、一生懸命頑張っていることがわかりました。
スタッフを揃えて基礎をしっかりとし、これからも頑張ってください。



温泉開湯100周年
特設サイト

広報広聴常任委員会 北海学園大学 教授・学生

広聴会

■開催日 令和8年6月25日（木曜日）

■北海学園大学 教授・学生

経済学部教授 北方共創圏研究センター長 うえそのまさたけ 上園昌武さん

経営学部 4年生 しばたゆうや 柴田侑弥さん

■参加議員 ちば ひさし たけなか たかひろ おがさわら てるみ かまくら かずお 千葉 久・竹中 隆浩・小笠原 照美・鎌倉 和雄

令和8年6月25日に豊富町と包括連携協定を締結している「北海学園大学」の上園教授と学生の柴田さんと広聴会を開催いたしました。協定締結後の取り組みやこれから予定されている活動内容案の一部をご紹介します。
広聴会へのご協力ありがとうございました。

『包括連携協定』とは

相互の発展と人材育成などが図られることを期待し、「まちづくり」や「地域経済」の発展などの実現に向けて協力するために結ぶ合意のこと。

協定の内容

“豊富町”と“北海学園大学”が、包括的な連携のもと、広範な分野で相互の密接な協力関係を築き、持続発展的に連携を深めることにより、地域課題へ適切に対応し、活力ある地域社会の発展や未来を担う人材の育成など地域貢献に寄与することを目的とする。

・4つの連携事項

- ①教育、文化振興、生涯学習および人材育成の推進に関すること
- ②地域づくりおよびまちづくりの推進に関すること
- ③地域経済の発展に関すること
- ④その他協議により必要と認められること



これまでの取り組み内容

◇脱炭素学習会 【2021年11月】

◇開発特別講座

- ・地域の「魅力」を見極め、未来を語ろう 【2022年7月】
- ・人口現象下のまちづくり、ひとづくり 【2022年8月】
- ・観光の視点から見た地域公共交通の維持と振興 【2022年10月】
- ・子育てと教育に活かす「描画で心を育てる」ワークショップ 【2026年3月】

◇地域循環共生圏づくり支援体制構築事業【環境省2024-26年の3年間】

※活動団体は「豊富町観光協会」、北海学園大学が中間支援の主体となり、サスティナブルツーリズム（持続可能な観光）を取り入れた滞在型観光の促進をテーマに環境・観光・子育て教育・定住を統合した取り組みを豊富町で実施する

<事業内容>

- ・ワクワクとよみ未来会議
- ・大学生インターンシップ
- ・テントサウナイベントの開催



困っていることや要望などはありませんか？

セミナーハウスの利用について

洋式トイレ(ウォシュレット)への交換や網戸の修理などが行われ、利用しやすい施設になりました。夜遅くまで話し合いが続くと、部屋の明かりで近隣住民に迷惑にならないか心配です。部屋に遮光カーテンが設置されると安心です。

公共交通について

以前はレンタサイクルなどを利用し、町内の移動をしていましたが、熊の出没情報があるなかではとても不安です。レンタカーも稚内まで行かないと手配ができないため、温泉までのアクセスや農家視察などでは不便に感じることがあります。デマンドバスを利用できると、移動の不便さがかなり解消されて滞在しやすくなります。

地域コーディネーターについて

豊富町を住みやすく、移住者を増やしていくためには、専門の地域コーディネーターの配置が必要です。他町では「地域おこし協力隊」がコーディネーターを担っている事例があります。コーディネーターは、地域に入り込んで信頼を得ることで、地域づくりに関わることができます。さらに、住民や地元の事業者などと、町外の大学生や湯治などの移住希望者をつなぎ、関係人口を増やすこともできます。

豊富町のこれからについて

環境省の共生圏事業では、「大学生のインターンシップ」「アイディアコンテスト」を行っています。夏休みを利用して町外の大学生が豊富町に滞在して、まちの良さや課題を見つけるようたくさん調べています。今年は地域づくりにつながるアイディアを出して、一つでも実現できるように取り組みます。若い大学生の力を活かして、より住みやすい地域をつくれるように関わっていきたいと考えています。

今後の活動

■「ワクワクとよみ未来会議」「ワクワクとよみワークショップ」の開催

町民に集まっていただいて、10年後20年後の将来、子どもたちが豊富で過ごす時に、ワクワクするような未来があるような町をつくろうというコンセプトで開催しています。

教育、子育て、産業、生活環境、観光の5種類のテーマで、考えられる課題や改善点をリスト化し、リストを基に自分で何ができるのか…を話し合い、「すぐにやらなければならないもの」「今すぐはできないけどじっくりやるもの」を考えて議論します。

■学生の「アイディアコンテスト」の開催【9/7～14】

テーマを決めて、そのテーマに沿った現地視察や観光名所を巡ったり、産業や事業に関わる事業者さんにインタビューや実際に働いている現場に行く機会を作りたいと思っています。学生の視点から豊富町での活動案を出して、町民に発表する場面をつくり、たくさんの方が参加できるようにして、いろんな人の目にふれるように工夫したいです。

議員感想

みなさんの活動を活かすためにも事業の継続が必要と感じます。話は尽きませんが、これからの活動をぜひ周知していただき、今後の議員活動の参考としていきます。



総務産業常任委員会 現地視察

令和8年6月19日に、総務産業常任委員会で町内6か所の現地視察を行いました。

町内の施設や令和7年8月に発生した豪雨災害の修繕後の様子を視察し、担当職員から説明を受けました。視察内容の一部をご紹介します。

■開催日 令和8年6月19日（金曜日）

■参加議員 千葉 久・鎌倉 和雄・水戸部 正博・佐々木 政義
小笠原 照美・竹中 隆浩・多々良 勝・前田 孝一
佐々木 誠

豊富町セミナーハウス



【概要】

スポーツ団体の合宿や各種団体の宿泊研修等で利用可能。

和室6部屋（定員8名）・指導員室2部屋・調理室・研修室（食堂）・浴室（男女別）などが設備され、WiFiモバイルルーターの貸出なども行っています。



議員感想 豊富町では、スポーツや文化の合宿と宿泊学習体験を応援しており、町外団体の方にも開放され、ハウス内は清掃等が行き届いた状態で想像している以上にきれいな施設でした。

※セミナーハウスの料金等の詳細はこちらをご覧ください



みなみな☆ひろば



【概要】

子どもたちが楽しめる場とコミュニケーションの場を確保し、さまざまな「学び」「チャレンジ」「経験」ができる遊び場。

幼児から児童が過ごせる空間の環境を整備し、安心・安全な遊び場を提供します。



議員感想 冬囲いの心配はありますが、今年はメンテナンスで塗装がされ、目立ったサビはありませんでしたが、今後も保護者などから意見や要望をよく聞いて対応が必要です。

※みなみな☆ひろばの詳細はこちらをご覧ください



サロベツカントリークラブ



修繕前



修繕後

【状況】

13番ホールのグリーン方向で豪雨による土砂崩れ発生後、応急的にグリーンを新設し営業していた。今シーズン前に土砂などの一部撤去を行い営業を開始したが、現在も土砂が残された状況であり、元のグリーンに戻すにも長期間の芝の育成が必要となる。

伊藤橋(東豊富地区)



修繕前



修繕後

【状況】

令和3年に橋梁架替整備した橋が豪雨により破損し通行止めとなっていた。降雪前に災害に関連する補助金の採択で修繕は完了している。現在、通行止めは解除され通行可能な状況となる。

4町内送水ポンプ場付近



修繕前



修繕後

【状況】

豪雨により、送水ポンプ場付近で土砂崩れが発生した。土留壁設置工事を施工し、土留布団かご(2段積)の設置で、今後の送水ポンプ場への土砂の流入などを防ぐ安全対策を実施した。

新生排水路付近(大通1丁目)



修繕前



修繕後

【状況】

豪雨の影響で、下エベコロベツ川と新生排水路の水位差の逆転で河川の逆流が起こり、低みに雨水が流入し、法面の崩壊や床上浸水などの被害があった。現在、法面は修繕されているが、河川も含めた対策を検討する必要がある。

未来にとどけ今の声

豊富町を住み続けたい
町にするために

高校生の声

豊富高校2年生

ながお せいが
長尾 青河さん



新しく品揃えの良いお店ができると豊富町に住み続けたいと思う人が増えるのではないかと考えました。なぜなら、よく利用していたスーパーが閉店してしまい、豊富町のスーパーは一つになったからです。

食品は日々の生活には欠かせない物であり、お店が減ると選べる商品が限られてしまうのです。自分の好みや必要な商品が手に入りにくくなり、買い物の満足度が下がってしまいます。身近な人も閉店したスーパーを利用していたため、とても困っていました。ほかにも同じ思いをしている人がいるのではないかと思います。そのため、品揃えがよく、安価で買い物ができるお店を新しく作った方がよいと考えました。例えば、小型の業務スーパーを置くことです。土地をあまり必要とせず住宅地に店舗を構えることができ、徒歩や自転車で買い物に出かけられます。業務スーパーは、ほかのお店より比較的安いので、豊富町にできれば住み続けたいと思う人は多くなると考えました。

豊富町に一言！

中校生の声

豊富中学校3年生

わたべ そう
渡部 蒼さん



僕は豊富の良い所と問題点を考えてみました。そしてその対策案も考えました。

まず良いところの一つ目は豊富牛乳です。豊富の自然豊かな環境で育ち、安心安全でコクがあり、牛乳特有の臭みが少ないので飲みやすく、アイスにしてもおいしい味です。これは豊富のアピールポイントだと思います。

良いところの二つ目はサロベツ原野です。道北では珍しい、ラムサール条約湿地として登録されている、世界的に重要な湿地だと思います。サロベツ原野は、四季の絶景を楽しむために木道が整備されており、秋には金色に輝く景色や利尻富士を背景にした景色を楽しめます。これは、豊富に住んでいて良いところだと思いました。

次に豊富の問題点です。豊富の定住支援センターにある、みなみな広場の公園の遊具の対象が十二歳までなので、中学生も遊べる場所やみんなで集まれるスペースを、みなみな広場のとなりに作ってほしいと思いました。

議会を傍聴してみませんか

議員は議場でどんな発言をしているのか。どんなまちづくりを考えているのか。今後の町の方向性を直接聞くことができるいい機会です。ぜひ、お越しください。



次回定例会は 9月 です。(9月中旬開催予定)

豊富町議会広報誌

議会とよとみ 第256号 (発行日 令和8年8月26日)

■発行責任者／議長 千葉 久 ■編集／広報広聴常任委員会

[豊富町議会事務局]

〒098-4110 北海道天塩郡豊富町大通6丁目 TEL.0162-73-1755 FAX.0162-82-2806